

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 オーデリック株式会社

コード番号 6889 URL <http://www.odelic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 雅人

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営本部長

(氏名) 吉友高 俊則

TEL 03-3332-1111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	4,738	11.7	327		300		310	
21年3月期第1四半期	5,368		157		129		80	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	51.51	
21年3月期第1四半期	13.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	22,161	15,161	68.4	2,516.76
21年3月期	22,754	15,512	68.2	2,574.88

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 15,161百万円 21年3月期 15,512百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		20.00		20.00	40.00
22年3月期					
22年3月期 (予想)		5.00		10.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	10,500	6.7	370		350		380		63.07
通期	22,300	4.2	200		190		260		43.16

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ〔定性的情報・財務諸表等〕4.その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無
 以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	7,611,000株	21年3月期	7,611,000株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	1,586,585株	21年3月期	1,586,419株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	6,024,537株	21年3月期第1四半期	6,024,740株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、一部には底入れの兆しが見られ景気は最悪期を脱しつつあるものの、本格的な景気回復に向けた動きは鈍く、引き続き厳しい状況となっております。

当企業グループの業績に大きな影響を与える建設投資においては、第1四半期の新設住宅着工戸数が前年同期比31.9%減の197千戸となり、設備投資の抑制から非居住用建築物の着工も低迷が続いております。

このような状況の中、当企業グループにおいては、6月1日よりLED照明器具等省エネ型の照明器具新製品を多数発売し、拡売を図ってまいりました。LED照明器具は計画通り順調な伸びを示したものの、新設住宅着工戸数減少の影響は大きく、店舗・施設等の物件受注も前年に比べ減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結業績は、売上高が4,738百万円(前年同期比11.7%減)、営業損失327百万円(前年同期比169百万円減)、経常損失300百万円(前年同期比170百万円減)、四半期純損失310百万円(前年同期比229百万円減)といずれも前年同期を下回る結果となりました。

機種別の業績は、次のとおりであります。

なお、当企業グループは、製商品の種類、性質、製造方法、販売市場等類似性から判断して、同種・同系列の各種照明器具を専ら製造販売しておりますので、事業のセグメントごとの業績を金額あるいは数量で記載しておりません。従いまして、業種につきましては機種別の分類区分ごとに金額を記載することとしており、所在地別セグメントにつきましては、全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

(白熱灯照明器具)

白熱灯照明器具につきましては、省エネの観点から本年5月発行のカタログより白熱灯一般電球搭載器具の掲載を大幅に削減し、蛍光灯やLED器具への切り替えを推進しております。

この結果、売上高は前年同期に比べ20.9%減の1,231百万円となりました。

(蛍光灯照明器具)

蛍光灯照明器具につきましては、白熱灯照明器具からのシフトが進んだものの、建設投資低迷の影響を受ける結果となり、売上高は前年同期に比べ4.2%減の2,728百万円となりました。

(高圧放電灯照明器具・その他)

高圧放電灯照明器具・その他につきましては、品揃えを強化したLED照明器具の販売がダウンライトを中心に大幅に伸ばいたしました。店舗・施設等の物件受注の減少から街路灯など特注品を中心に減収となり、売上高は前年同期に比べ19.3%減の778百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて592百万円減少し22,161百万円となりました。これは主に商品及び製品の増加180百万円に対して、受取手形及び売掛金が715百万円減少したこと等によるものです。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べて242百万円減少し6,999百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が385百万円減少したこと等によるものです。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて350百万円減少し15,161百万円となりました。これは主に利益剰余金が430百万円減少したこと等によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、3,587百万円となり、前連結会計年度末に比べ384百万円減少しました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況及び要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は225百万円(前年同期は564百万円の増加)となりました。この主な要因は、売上債権の減少による資金の増加715百万円に対して、税金等調整前当期利益の減少300百万円や、たな卸資産の増加238百万円及び仕入債務の減少391百万円により資金が減少したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は45百万円(前年同期比67.1%減)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出34百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は113百万円(前年同期比30.7%減)となりました。この主な要因は、配当金の支払による支出107百万円があったこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日に開示いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めていた「デリバティブ評価益」は、営業外収益の100分の20を超えたため、当第1四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。なお、前第1四半期連結累計期間の営業外収益「その他」に含まれる「デリバティブ評価益」は3,167千円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,888,252	4,272,858
受取手形及び売掛金	3,427,622	4,142,711
商品及び製品	4,016,597	3,835,841
仕掛品	177,936	179,334
原材料及び貯蔵品	558,101	498,497
その他	519,960	300,888
貸倒引当金	△3,673	△5,100
流動資産合計	12,584,797	13,225,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,597,932	4,668,566
機械装置及び運搬具(純額)	190,328	201,869
土地	2,098,147	2,098,147
その他(純額)	375,692	345,547
有形固定資産合計	7,262,100	7,314,131
無形固定資産		
投資その他の資産	1,177,700	1,155,279
投資その他の資産		
投資有価証券	836,644	750,696
その他	315,934	315,107
貸倒引当金	△15,203	△5,312
投資その他の資産合計	1,137,376	1,060,491
固定資産合計	9,577,176	9,529,902
資産合計	22,161,973	22,754,933
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,117,763	4,503,415
短期借入金	4,639	4,960
未払法人税等	38,158	79,614
賞与引当金	472,041	279,997
その他	822,352	829,135
流動負債合計	5,454,955	5,697,122
固定負債		
長期借入金	35,840	36,914
退職給付引当金	319,962	309,055
役員退職慰労引当金	120,116	117,503
その他	1,069,099	1,081,751
固定負債合計	1,545,019	1,545,223
負債合計	6,999,974	7,242,346

オーデリック株式会社(6889) 平成22年3月期 第1四半期決算短信

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,105,500	3,105,500
資本剰余金	2,890,655	2,890,655
利益剰余金	10,574,106	11,004,902
自己株式	△1,393,258	△1,393,166
株主資本合計	15,177,004	15,607,891
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△15,004	△95,303
評価・換算差額等合計	△15,004	△95,303
純資産合計	15,161,999	15,512,587
負債純資産合計	22,161,973	22,754,933

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	5,368,161	4,738,371
売上原価	3,356,489	3,002,203
売上総利益	2,011,671	1,736,168
販売費及び一般管理費	2,169,587	2,063,468
営業損失(△)	△157,915	△327,299
営業外収益		
受取利息	997	—
受取配当金	21,422	16,308
デリバティブ評価益	—	9,907
その他	10,434	9,339
営業外収益合計	32,854	35,554
営業外費用		
支払利息	2,317	1,817
投資事業組合運用損	—	3,101
その他	2,458	3,357
営業外費用合計	4,776	8,277
経常損失(△)	△129,836	△300,022
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,554	—
特別利益合計	1,554	—
特別損失		
固定資産除却損	350	135
会員権売却損	—	300
特別損失合計	350	435
税金等調整前四半期純損失(△)	△128,632	△300,457
法人税、住民税及び事業税	25,501	33,419
法人税等調整額	△73,274	△23,573
法人税等合計	△47,772	9,846
四半期純損失(△)	△80,860	△310,304

オーデリック株式会社(6889) 平成22年3月期 第1四半期決算短信

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△128,632	△300,457
減価償却費	147,602	146,117
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,468	8,464
受取利息及び受取配当金	△22,419	△16,308
支払利息	2,317	1,817
デリバティブ評価損益(△は益)	△3,167	△9,907
固定資産除却損	350	135
売上債権の増減額(△は増加)	738,029	715,088
たな卸資産の増減額(△は増加)	△478,184	△238,961
仕入債務の増減額(△は減少)	275,428	△391,011
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,630	10,907
その他	56,985	△98,871
小計	581,210	△172,987
利息及び配当金の受取額	22,415	16,304
利息の支払額	△482	△262
法人税等の支払額	△38,258	△68,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	564,884	△225,308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△138,149	△34,243
無形固定資産の取得による支出	△1,200	△13,450
その他	—	1,786
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139,349	△45,907
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,781	△1,395
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,435	△4,551
自己株式の取得による支出	△24	△91
配当金の支払額	△159,300	△107,351
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163,542	△113,390
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	261,993	△384,606
現金及び現金同等物の期首残高	4,073,503	3,971,858
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,335,496	3,587,252

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。